

SWK AERO BONNET

取付・取扱 説明書



このたびは、SWK 製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本書は、本製品の「取付・取扱」要領と注意事項について記載しております。 取り付け前に必ずお読み頂きご理解頂いた上で正しい取り付けを行って下さい。 本書に関してご不明な点がございましたら弊社若しくはご購入頂きましたお店までご連絡頂きます様お願いいたします。

【製品詳細】 品名：SWK AERO BONNET

品番：B-372F (FRP 製)
B-372CF1 (FRP & CARBON-DUCT 製)
B-372CF2 (FULL CARBON 製)

適合車種：スズキ スイフト

適合型式：ZC32S

構成部品	数量
① ボンネット (製品本体)	1
② ダクトネット	4
③ レインプロテクター (左右)	各 1
④ エアロキャッチ	1set
⑤ M5 x 15 ボルト (レインプロテクター用)	8
⑥ 説明書 (本書)	1

△ 製品に関する注意事項

- 適合車種以外の車両への取り付けや本製品を改造しての取り付けは絶対に行わないで下さい。
- 本製品は塗装前に必ず車両へ仮取り付けを行い、フィッティングの確認を行って下さい。
※塗装後の返品やクレームに関しては一切、対応ができませんので予めご了承頂く様お願いいたします。
- ※事故などにより車両状態に問題のあるお車には取り付けできない場合がございます。
- 本製品を落下させたり無理な力を加える様な行為は絶対に行わないで下さい。
- 本製品の取り付け後、自動洗車機の使用はお止め下さい。

△ 取り付け作業に関する注意事項

- 取り付け作業は充分なスペースが確保できる場所で行って下さい。
- 本書に記載されている構成部品・数量の確認を行って下さい。
- エンジンを停止し、車両が確実に固定されている状態で作業を行って下さい。
- 作業中、車両にキズをつけない様に注意して下さい。
- 取り付け作業は必ず 2 名以上で行って下さい。
- 予め取り付けに必要な工具を用意しておいて下さい。
- 両面テープの使用について
 - 両面テープで接着する部分は、車両側・製品側共に脱脂を必ず行って下さい。
 - 低温時には接着力が低下する為、ドライヤーなどで温めてから貼り付けて下さい。
 - 両面テープの離層紙は製品を車両に合わせた際、微調整が行える様に端だけを捲り位置決めができた時点で全て剥して下さい。
- 貼り付け後、完全に接着するまでは接着面を圧着した状態でズれない様に固定しておいて下さい。

△ 取り付け後に関する注意事項

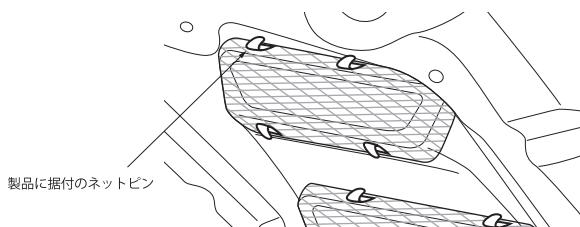
- 取り付け作業完了後、車両に問題なく確実に固定されている事を確認して下さい。
- 定期的に取り付けビスやボルトなど固定部分の点検を行って下さい。
※何らかの問題が発生した場合には直ちに使用はお止め頂き、修理若しくは交換をして下さい。
- 装着する商品によっては最低地上高や車高など走行状況が変わりますので縁石や段差・屋根のある場所の走行は充分に注意して下さい。

取り付け業者様へのお願い

本製品の取り付け作業完了後、車両納車時には本書をお客様に必ずお渡しして下さい。

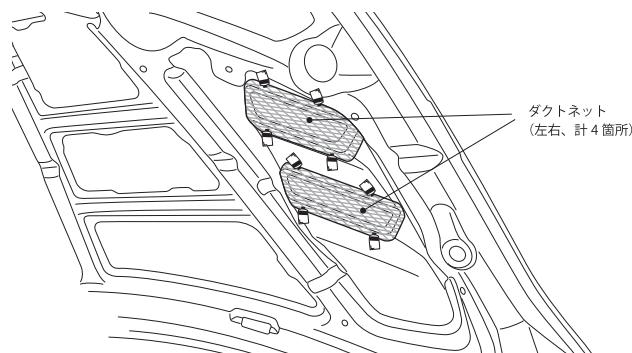
手順1：ボンネット用ダクトネットの取り付け

- 1、製品裏側のダクト部分に据付られているネットピンで付属のダクトネットを固定して下さい。
- 2、ダクトからはみ出す部分のネットを製品に沿わす様に折り曲げて下さい。
- 3、折り曲げた部分をコーティングボンド等で製品に接着し、ネットを確実に固定して下さい。



△ 注意

- ・ダクトネットの取り付けは塗装後にレインプロテクターを外した状態で行って下さい。
- ・ボンドで接着する部分は脱脂を充分に行い、ネットが完全に接着するまでズれない様に固定しておいて下さい。

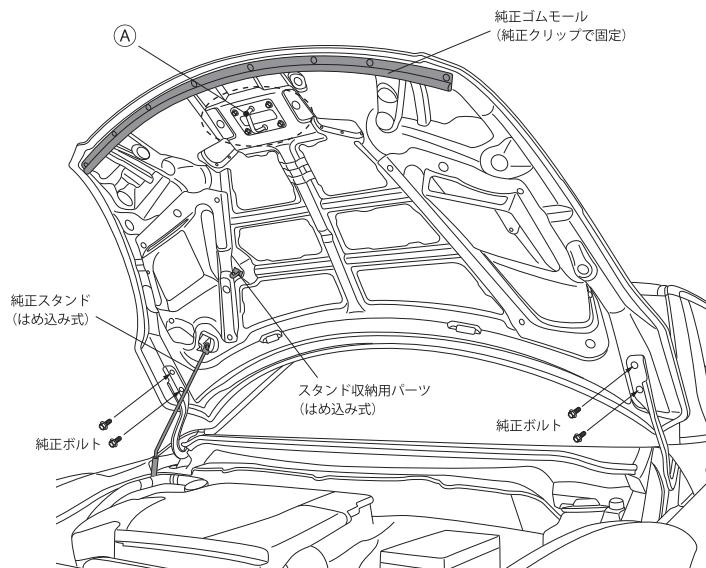


手順2：ボンネットの取り付け

- 1、純正ボンネットを取り外して下さい。
- 2、純正ボンネットからゴムモールとスタンドを取り外し、製品側に取り付けて下さい。
- 3、製品を車両の取り付け位置に合わせ、図を参考に各固定部分を仮止めして下さい。
- 4、全体のバランスを見て微調整を行い、取り付け位置が決まりましたら仮止めした部分を確実に固定して下さい。

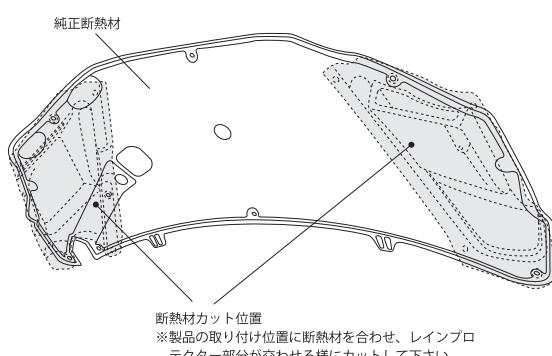
△ 注意

- ・製品を車両へ合わせた際、干渉する部分や穴位置のズレがありましたらヤスリなどで削って微調整を行って下さい。
- ・ボルトの締め付け過ぎは破損の原因になりますので注意して下さい。
- ・製品の位置決めは純正ボルトの固定部分とストライカ (右図、Ⓐの部分) の固定部分で調整を行って下さい。



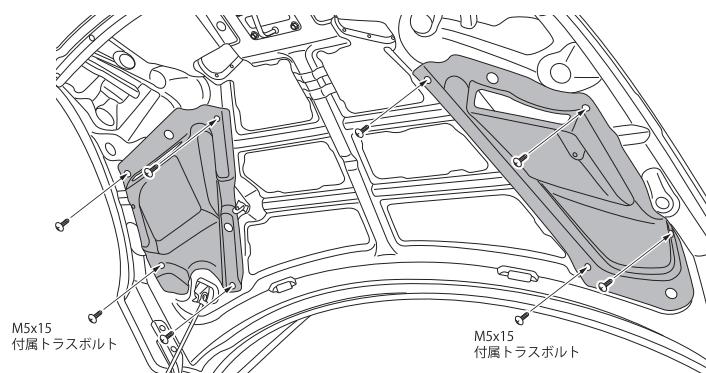
手順3：レインプロテクターの取り付け

- 1、製品裏側の取り付け位置にレインプロテクターを合わせ、付属のボルトで固定して下さい。
- 2、レインプロテクターの装着後、純正の断熱材を取り付ける場合は加工が必要になります。図を参考に断熱材をカットして下さい。



△ 注意

- ・取り付け用の穴位置にズレがありましたらレインプロテクター側の穴をヤスリなどで削って微調整を行って下さい。
- ・競技中などエンジンルームの放熱効果を上げたい場合はレインプロテクターを取り外して下さい。但し、雨天の場合はエンジンルーム内に水が入りますので御注意下さい。

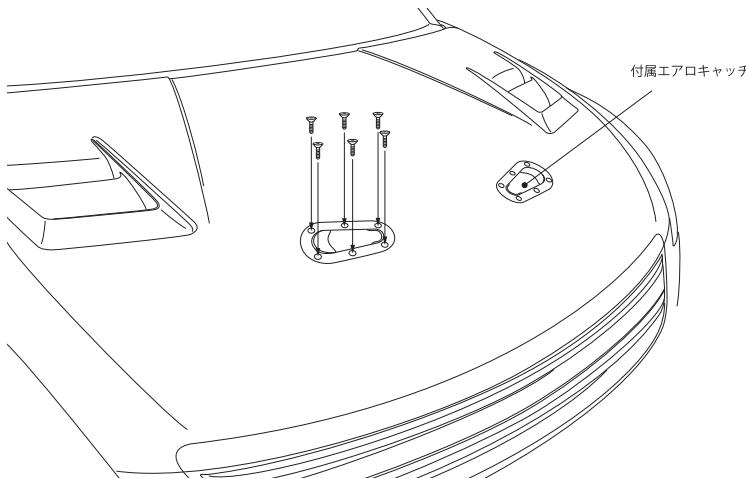


手順4：エアロキャッチの取り付け

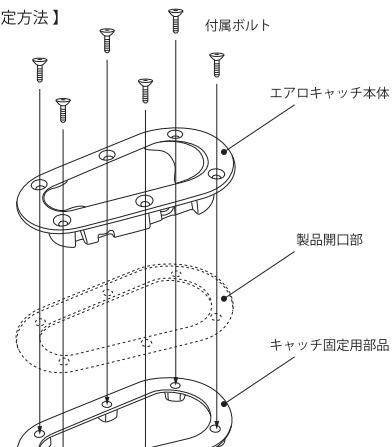
- 1、製品の開口部にキャッチ本体を合わせて下さい。
- 2、ボンネットを開け、製品裏側からキャッチ固定用の部品を合わせて付属のボルトで仮止めして下さい。
- 3、全体のバランスを見て微調整を行い、取り付け位置が決まりましたら仮止めした部分を確実に固定して下さい。

△ 注意

- キャッチを車両へ合わせた際、干渉する部分や穴位置のズレがありましたらヤスリなどで削って微調整を行って下さい。
- ボルトの締め付け過ぎは破損の原因になりますので注意して下さい。
- エアロキャッチのロック機能を使用する場合は加工が必要になります、手順5の作業を行って下さい。

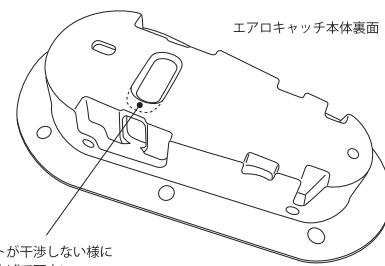
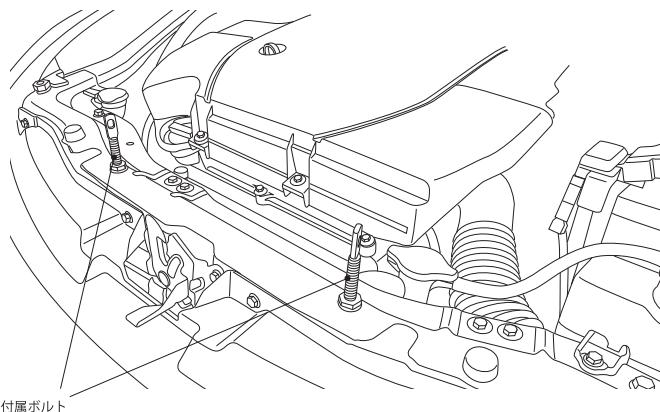


【エアロキャッチ固定方法】

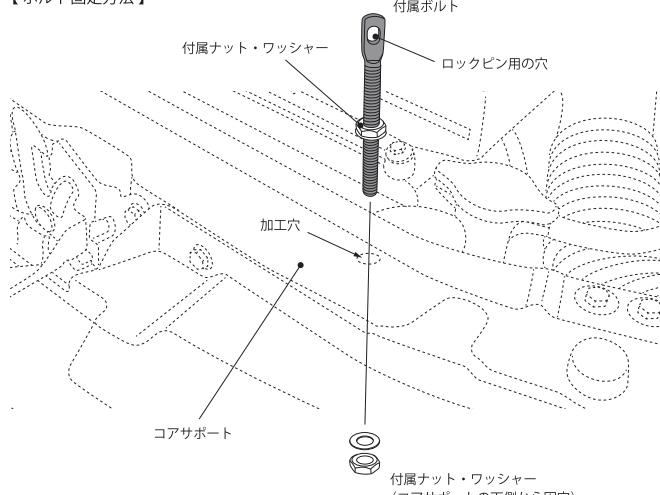


手順5：エアロキャッチ用ロック機能の使用

- 1、製品に取り付けたエアロキャッチ本体底面の穴を利用してボルトを立てる為の穴位置を車両側にマーキングして下さい。
- 2、ボンネットを開け、ストライカーを取り外してマーキングの位置にボルトが通る穴を開けて下さい。
- 3、図を参考にボルトを車両に取り付け、仮止めして下さい。
- 4、エアロキャッチは傾斜になった面に固定している為、本体底面の穴にボルトが干渉する場合がありますのでボンネットの開閉が問題なくできる様にヤスリなどで削って穴を広げて調整をして下さい。
- 5、ボルトの先端にある穴にエアロキャッチのロックピンが通る様にボルトを調整し、位置が決まりましたら仮止めした部分を確実に固定して下さい。



【ボルト固定方法】



△ 注意

- エアロキャッチのロック機能を使用する場合はコアサポートへの穴開け加工が必要になります。
- ボルトの締め付け過ぎは破損の原因になりますので注意して下さい。
- 純正のロック機能も併用する場合は製品のストライカーは取り外さずご使用下さい。